

条南地区振興協議会 まちづくり通信 Vol.43

発行日：令和5年2月1日



さかなの駅の11年間に感謝！

田中前の共同商業施設「気仙沼さかなの駅」で、1月15日（日）最終営業日のセレモニーが行われました。震災後、「気仙沼の元気はさかなから」をキャッチフレーズに鮮魚店など7店舗が地域の台所として営業を続けてきましたが、建物の老朽化などのため閉店し、営業を続ける店舗は別々の場所で再出発することになりました。

買い物客は勿論のこと、以前この場所で働いていた方や、お世話になったと挨拶に訪れる方も多く、和やかな雰囲気最終日を迎えました。

午後4時、「蛍の光♪」が流れる中、最後の買い物客をスタッフ全員で正面玄関まで見送り、セレモニーで、「悔いがないと言ったら嘘になるが、新たにそれぞれの所で営業するので、今後ともよろしく。」とあいさつがあると、見守っていた方から「おつかれさま」の声と拍手が送られました。

これまで、条南地域の中心施設として各種イベントなどで賑わい、地域の交流の場となっていただけに、閉店を惜しむ声が各所で聞かれました。



消防出初式で祝賀放水

1月8日（日）、「令和5年気仙沼市消防出初式」が気仙沼市総合体育館ケー・ウェーブを会場に開催されました。式典に先立ち、午前10時のサイレンを合図に気仙沼市消防団第2分団（三浦徳志分団長）の団員25名による祝賀放水が市営内の脇住宅付近の大川で行われ

ました。

大勢の住民が見守る中、団員はしっかりとホースを持ち、放水された水は綺麗な弧を描いていました。

また、当日は穏やかな晴天で、広域防災センターからケー・ウェーブまで消防車による分列行進を行い、火災予防を呼びかけました。



民生委員・児童委員と自治会長が意見交換

西地区民生委員・児童委員協議会と条南地区の自治会長による意見交換会が1月10日(火)条南分館で開催されました。今回の懇談会は、昨年12月に委員の委嘱替えがあったため顔合わせを兼ねて実施したもので、民生委員・児童委員12名と自治会長13名の他、市社会福祉課長などが出席しました。

各自治会とも民生委員・児童委員の人材確保が課題で、地区内の19行政区のうち6地区が欠員(うち2地区は推薦済みで4月頃の委嘱予定)になっています。

民生委員・児童委員の活動は住民の相談相手として、また、高齢者の見守りなど重要な役割を担っています。少しでも負担軽減につながればと、自治会長からは意思疎通を図り、自治会と一緒に地域の福祉活動を拡充させようという意見がありました。

条南地区振興協議会では市政懇談会で、民生委員・児童委員の活動をボランティアでサポートする協力員制度の導入を市に要望しており、市社会福祉課の吉川課長からは「仙台市で取り組んでいる民生委員協力員制度を参考に気仙沼にあったものを考えてみたい」との説明がありました。

今回は、協力員制度について話し合うとともに、各自治会の福祉活動の取り組みを情報交換する予定です。



子どもの居場所「みらいと」の利用を

NPO法人が運営する子どもの居場所「みらいと」が昨年11月、神山に開設しました。

2つのNPOが共同で運営する「みらいと」は子どもたちが過ごせる第3の居場所として、安心して心開くことができる場を目指しているそうです。

「みらいと」では、研修を受けたスタッフが2名常駐して見守りをしています。利用する子どもたちは、3つある部屋の好きな所で自由に過ごすことができ、取材に伺った日は小学校高学年の女の子3人が、トランプと一緒に遊んでいるところでした。子どもたちに話を聞くと、一緒に宿題をすませてから好きな遊びをするそうで、とても楽しいと話していました。本箱には、寄贈された本や、豊富な種類の色鉛筆なども並んでいて、思い思いの時間を過ごすことができるそうです。

開設から3か月が過ぎましたが、現在は近隣の子どもたちが利用しています。スタッフの飯塚さんは、

「中学生も自主学習などに活用できるので、より多くの人に知ってもらい、放課後の居場所として安心して通ってもらいたい。」と話していました。

- 対象 小学4.5.6年生 中学生
- 場所 神山12-11(ファミリー歯科さんの神山側)
- 時間 月・水曜日 15:00~19:00(祝日を除く)
- 料金 無料
- 問合せ先 090-5287-9106
- 運営 NPO法人「人間の安全保障」/NPO法人ウィメンズアイ



発行：条南地区振興協議会

〒988-0053 気仙沼市田中前 4-8

気仙沼中央公民館条南分館内

☎ 080-9331-9748

✉ jyounanshinkou@gmail.com



Twitterはこちらから



Facebookはこちらから

